

第 5 章 道路橋定期点検要領 別紙 2 様式 1 様式 2

1. 蔵波第一橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	経度	橋梁ID
蔵波第一橋 (フリガナ) クラナミダイチキョウ	市道蔵波41号線	千葉県袖ヶ浦市蔵波地先		35° 25' 28"	140° 01' 25"	35.42462.140.03216
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ヶ浦市	2020.9.11	館山自動車道		一般道	無	水道管

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)						
定期点検時に記録			定期点検者			
定期点検時に記録			(株)ネクスコ東日本エンジニアリング 赤木 琢也			
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	Ⅱ	ひびわれ	写真1、1径間、主構(脚)01	—	—	—
横桁	—	—	—	—	—	—
床版	Ⅰ	—	—	—	—	—
下部構造	Ⅰ	—	—	—	—	—
支承部	—	—	—	—	—	—
その他	Ⅱ	その他(目地材欠損)	写真2、3径間、地覆	—	—	—

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)	
定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	全体的に損傷が進行しており判定区分ⅠからⅡとなっている。予防保全の観点から速やかに補修を行う必要がある。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)			
架設年次	橋長	幅員	
1995年	50.04m	6.70m	
橋梁形式			
PC斜材付π型ラーメン橋			

起点

終点



※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

別紙2 様式1様式2
状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(写真1、1径間、主構(脚))【判定区分：Ⅱ】		その他(写真2、3径間、地覆)【判定区分：Ⅱ】	
			
【判定区分：Ⅱ】		【判定区分：Ⅱ】	

2. 蔵波第二橋

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35° 25' 27"	橋梁ID	35.42444.140.03083
蔵波第二橋 (フリガナ) クラナミダイニキョウ	市道蔵波40号線	千葉県袖ヶ浦市蔵波地先		経度	140° 01' 51"		
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
袖ヶ浦市	2020.9.11	館山自動車道		一般道	無	無	

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)				定期点検者		(株)ネクスコ東日本エンジニアリング 赤木 琢也
定期点検時に記録				応急措置後に記録		
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅱ	ひびわれ	写真1、3径間、主構(脚)02	—	—
	横桁	—	—	—	—	—
	床版	Ⅰ	—	—	—	—
下部構造	Ⅰ	—	—	—	—	—
支承部	—	—	—	—	—	—
その他	Ⅱ	その他(目地材欠損)	写真2、1径間、地覆	—	—	—

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)	
定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	全体的に損傷が進行しており判定区分ⅠからⅡとなっている。予防保全の観点から速やかに補修等を行う必要がある。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)		
架設年次	橋長	幅員
1995年	44.84m	6.00m
橋梁形式		
PC斜材付π型ラーメン橋		

起点



終点



※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

別紙2 様式1様式2
状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(写真1、3径間、主構(脚))【判定区分：Ⅱ】		その他(写真2、1径間、地覆)【判定区分：Ⅱ】	
			
【判定区分：Ⅱ】		【判定区分：Ⅱ】	

3. 外野橋

別紙2 様式 1 様式 2
橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35° 25' 27"	橋梁ID	35.42444.140.02806
外野橋 (フリガナ) ソトノハシ	市道代宿横田線	千葉県袖ヶ浦市蔵波地先		経度	140° 01' 41"		
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
袖ヶ浦市	2020.9.14	館山自動車道		一般道	無	通信管	

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)				定期点検者		(株)ネクスコ東日本エンジニアリング 赤木 琢也	
定期点検時に記録				応急措置後に記録			
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日	
上部構造	主桁	Ⅱ	剥離・鉄筋露出	写真1、1径間、主桁01	—	—	
	横桁	—	—	—	—	—	
	床版	Ⅰ	—	—	—	—	
下部構造	Ⅱ	ひびわれ	写真2、1径間、縦壁01	—	—	—	
支承部	Ⅰ	—	—	—	—	—	
その他	Ⅱ	剥離・鉄筋露出	写真3、1径間、高欄	—	—	—	

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)	
定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	全体的に損傷が進行しており判定区分ⅠからⅡとなっている。予防保全の観点から速やかに補修等を行う必要がある。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)			
架設年次	橋長	幅員	
1994年	33.50m	13.00m	
橋梁形式			
PC単純中空床版橋			

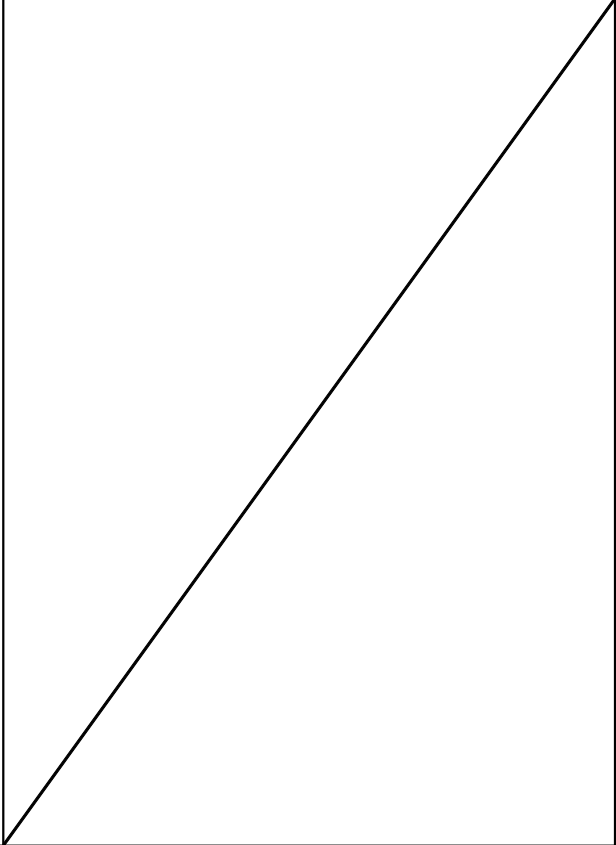
起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

別紙2 様式1様式2
状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(写真1、1径間、主桁01)【判定区分: Ⅱ】		下部構造(写真2、1径間、堅壁01)【判定区分: Ⅱ】	
			
その他(写真3、1径間、高欄)【判定区分: Ⅱ】		【判定区分: 】	
			

4. 代官割橋

別紙2 様式1 様式2
橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35° 25' 27"	橋梁ID
代官割橋 (フリガナ)	市道蔵波36号線	千葉県袖ヶ浦市蔵波地先		経度	140° 01' 27"	35.42444.140.02444
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ヶ浦市	2020.9.17	館山自動車道		一般道	無	水道管

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)				定期点検者		(株)ネクスコ東日本エンジニアリング 赤木琢也
定期点検時に記録				応急措置後に記録		
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅱ	ひびわれ	写真1、1径間、主構(脚)01	—	—
	横桁	—	—	—	—	—
	床版	Ⅰ	—	—	—	—
下部構造	Ⅰ	—	—	—	—	—
支承部	—	—	—	—	—	—
その他	Ⅱ	剥離・鉄筋露出	写真2、2径間、高欄	—	—	—

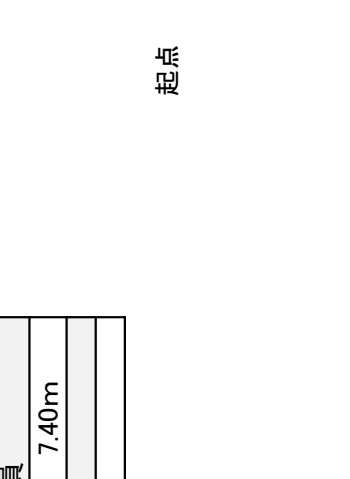
道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)	
定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	全体的に損傷が進行しており判定区分ⅠからⅡとなっている。予防保全の観点から速やかに補修等を行う必要がある。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)		
架設年次	橋長	幅員
1994年	43.04m	7.40m
橋梁形式		
PC斜材付π型ラーメン橋		

起点



終点



※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

別紙2 様式1様式2
状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(写真1、1径間1主構(脚)01)【判定区分：Ⅱ】		その他(写真2、2径間、高欄)【判定区分：Ⅱ】	
			
【判定区分：】		【判定区分：】	

5. 野田橋

別紙2 様式 1 様式 2
橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35° 25' 24"	橋梁ID
野田橋 (フリガナ) ノダバシ	市道野田4号線	千葉県袖ヶ浦市野田地先		経度	140° 01' 09"	35.42361.140.01917
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ヶ浦市	2020.9.17	館山自動車道		一般道	無	無

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)				定期点検者		(株)ネクスコ東日本エンジニアリング 赤木 琢也
定期点検時に記録				応急措置後に記録		
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅱ	ひびわれ	写真1、1径間、主構(脚)01	—	—
	横桁	—	—	—	—	—
	床版	Ⅱ	漏水・遊離石灰	写真2、1径間、床版01	—	—
下部構造	Ⅰ	—	—	—	—	—
支承部	—	—	—	—	—	—
その他	Ⅱ	その他(目地材欠損)	写真3、1径間、地覆	—	—	—

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)	
定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等) 全体的に損傷が進行しており判定区分ⅠからⅡとなっている。特に主構(桁)のひびわれ、床版の遊離石灰は、新たに発生している。予防保全の観点から速やかに補修等を行う必要がある。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)		
架設年次	橋長	幅員
1994年	47.44m	6.00m
橋梁形式		
PC斜材付π型ラーメン橋		

起点

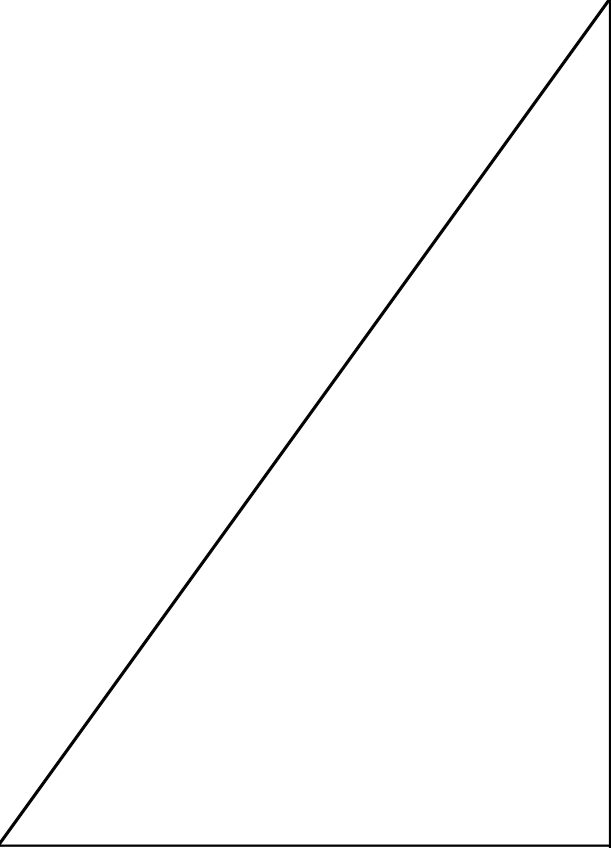


終点



※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

別紙2 様式1様式2
状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(写真1、1径間、主構(脚)01)【判定区分：Ⅱ】		上部構造(写真2、1径間、床版01)【判定区分：Ⅱ】	
			
その他(写真3、1径間、地覆)【判定区分：Ⅱ】		【判定区分：】	
			

6. 鎌倉街道橋

別紙2 様式1様式2
橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	35° 25' 23" 140° 01' 03"	橋梁ID
鎌倉街道橋 (フリガナ)	カマクラカイドウバシ	千葉県袖ヶ浦市大曽根地先				35.42333.140.01750
管理者名	市道飯富上泉線	定期点検実施年月日	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ヶ浦市	2020.9.17	路下条件		一般道	無	水道管
		館山自動車道				

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)				定期点検者	(株)ネクスコ東日本エンジニアリング 赤木 琢也
定期点検時に記録				応急措置後に記録	
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅱ	ひびわれ	写真1、1径間、主桁01	—
	横桁	Ⅱ	ひびわれ	写真2、1径間、箱桁内横桁04	—
	床版	Ⅰ	—	—	—
下部構造	Ⅱ	ひびわれ	写真3、1径間、縦壁02	—	—
支承部	Ⅱ	変形・欠損	写真4、1径間、支承101	—	—
その他	Ⅱ	舗装の異常	写真5、1径間、舗装	—	—

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)	
定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等) 全体的に損傷が進行しており判定区分ⅠからⅡとなっている。特に、主構(桁)に新たなひびわれが発生している。予防保全の観点から速やかに補修等を行う必要がある。
Ⅱ	

全景写真(起点側、終点側を記載すること)			
架設年次	橋長	幅員	
1994年	39.30m	10.10m	
橋梁形式			
PC単純箱桁橋			



※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

別紙2 様式1様式2
状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(写真1、1径間、主桁01)【判定区分：Ⅱ】 	上部構造(写真2、1径間、箱桁内横桁04)【判定区分：Ⅱ】 
下部構造(写真3、1径間、縦壁02)【判定区分：Ⅱ】 	支承(写真4、1径間、支承101)【判定区分：Ⅱ】 

別紙2 様式1様式2
状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

その他(写真5、1径間、舗装)	Ⅱ	【判定区分:
		
		【判定区分:

7. 根形台第一橋

別紙2 様式 1 様式 2
橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	35° 25' 13" 140° 00' 48"	橋梁ID
根形台第一橋 (フリガナ) ネガタダイダイチキョウ	市道大曽根3号線	千葉県袖ヶ浦市大曽根地先				35.42028.140.01361
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ヶ浦市	2020.9.18	館山自動車道		一般道	無	無

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)						
定期点検時に記録				定期点検者 (株)ネクスコ東日本エンジニアリング 赤木 琢也		
部材名				応急措置後に記録		
	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	Ⅰ	－	写真1、2径間、主構(桁)01	－	－	－
	－	－	－	－	－	－
	Ⅰ	－	－	－	－	－
下部構造	Ⅰ	－	－	－	－	－
支承部	－	－	－	－	－	－
その他	Ⅱ	その他(目地材欠損)	写真2、3径間、地覆	－	－	－

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)
定期点検時に記録
(判定区分) (所見等) 橋梁全体的には健全な状態を保っている。下部構造の漏水・滞水は橋面の地覆目地材の欠損、伸縮装置のシールゴムの欠損、舗装の隙間からの漏水によるものと推定されるため速やかな補修が必要である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)			
架設年次	橋長	幅員	
1994年	44.34m	6.00m	
橋梁形式			
PC斜材付π型ラーメン橋			



起点

終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

別紙2 様式1様式2
状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(写真1、2径間、主構(桁)01)【判定区分:Ⅰ】		その他(写真2、3径間、地覆)【判定区分:Ⅱ】	
			
【判定区分:Ⅰ】		【判定区分:Ⅱ】	

8. 根形台第二橋

別紙2 様式 1 様式 2
橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	35° 25' 09" 140° 00' 47"	橋梁ID
根形台第二橋 (フリガナ) ネガタダイダイニキョウ	市道大曽根4号線	千葉県袖ヶ浦市大曽根地先				35.41944.140.01306
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ヶ浦市	2020.9.18	館山自動車道		一般道	無	無

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検時に記録				応急措置後に記録			
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅱ	補修・補強材の損傷	写真1、3径間、主構(脚)01	—	—	—
	横桁	—	—	—	—	—	—
	床版	Ⅰ	—	—	—	—	—
下部構造		Ⅰ	—	—	—	—	—
支承部		—	—	—	—	—	—
その他		Ⅱ	ひびわれ	写真2、2径間、高欄	—	—	—

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録
(判定区分) (所見等)
Ⅱ 全体的に損傷が進行しており判定区分ⅠからⅡとなっている。予防保全の観点から速やかに補修等を行う必要がある。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1994年	51.34m	6.00m
橋梁形式		
PC斜材付変形π型ラーメン橋		
起点  終点		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

別紙2 様式1様式2
状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(写真1、3径間、主構(脚)01)【判定区分：Ⅱ】		その他(写真2、2径間、高欄)【判定区分：Ⅱ】	
			
【判定区分：Ⅱ】		【判定区分：Ⅱ】	

9. 根形台第三橋

別紙2 様式1 様式2
橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35° 25' 05"	橋梁ID	35.41833.140.01222
根形台第三橋 (フリガナ) ネガタダイサイサンキョウ	市道大曽根5号線	千葉県袖ヶ浦市大曽根地先		経度	140° 00' 43"		
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
袖ヶ浦市	2020.10.1	館山自動車道		一般道	無	無	

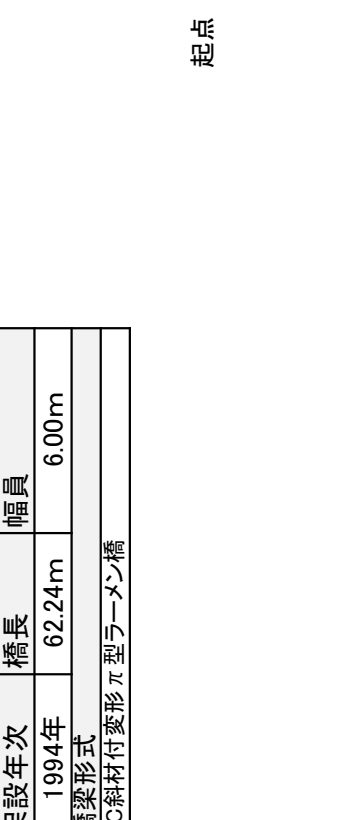
部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)				定期点検者		(株)ネクスコ東日本エンジニアリング 赤木 琢也
定期点検時に記録				応急措置後に記録		
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅱ	ひびわれ	写真1、1径間、主構(桁)01	—	—
	横桁	—	—	—	—	—
	床版	Ⅰ	—	—	—	—
下部構造	Ⅰ	—	—	—	—	—
支承部	—	—	—	—	—	—
その他	Ⅱ	舗装の異常	写真2、2径間、舗装	—	—	—

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)	
定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等) 全体的に損傷が進行しており判定区分ⅠからⅡとなっている。主構(桁)端部に新たにひびわれが確認された。予防保全の観点から速やかに補修等を行う必要がある。
Ⅱ	

全景写真(起点側、終点側を記載すること)		
架設年次	橋長	幅員
1994年	62.24m	6.00m
橋梁形式		
PC斜材付変形π型ラーメン橋		



起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

別紙2 様式1様式2
状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(写真1、1径間、主構(桁)01)【判定区分：Ⅱ】		その他(写真2、2径間、舗装)【判定区分：Ⅱ】	
			
【判定区分：Ⅱ】		【判定区分：Ⅱ】	

1 0. 大曾根北坂橋

別紙2 様式 1 様式 2
橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35° 25' 00"	橋梁ID
大菅根北坂橋 (フリガナ) オオソネキタサカバシ	市道大菅根6号線	千葉県袖ヶ浦市大菅根地先		経度	140° 00' 42"	35.41694.140.01194
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ヶ浦市	2020.10.1	館山自動車道		一般道	無	無

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)				定期点検者		(株)ネクスコ東日本エンジニアリング 赤木 琢也
定期点検時に記録				応急措置後に記録		
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	応急措置後の判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ	写真1、1径間、主構(桁)	—	—	—
	横桁	—	—	—	—	—
	床版	Ⅰ	—	—	—	—
下部構造	Ⅰ	—	—	—	—	—
支承部	—	—	—	—	—	—
その他	Ⅱ	変形・欠損	写真2、2径間、高欄	—	—	—

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)	
定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等) 主要部材は健全な状態を保っている。高欄の欠損は劣化による第三者被害が想定される。予防保全の観点から速やかに補修等を行う必要がある。
Ⅰ	

全景写真(起点側、終点側を記載すること)		
架設年次	橋長	幅員
1994年	57.64m	6.00m
橋梁形式		
PC斜材付変形π型ラーメン橋		



起点側



終点側

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

別紙2 様式1様式2
状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(写真1、2径間、主構(桁)01)【判定区分：Ⅰ】		その他(写真2、2径間、高欄)【判定区分：Ⅱ】	
			
【判定区分：Ⅰ】		【判定区分：Ⅱ】	